



総合地所株式会社

シンククライアント導入による先進的な職場環境の構築

時代を先駆ける理想の都市づくりを目指す総合地所では、社員が1人1台使用するPC端末180台を、全てシンククライアントに入れ替えた。どの端末でも自分の作業環境が瞬時に展開できる利便性、入退出カードと共用化された端末認証カードによるセキュリティの強化など、先進的な職場環境によってもたらされる効果は、単に消費電力減にとどまらない幅広いものとなっている。

Point 1 電気ストーブ約18台分の電力削減効果

消費電力100Wのファットクライアントを、わずか4Wのシンククライアントに入れ替えることで、大幅な電力削減を実現した。サーバの消費電力を考慮しても、削減効果は800Wの電気ストーブ約18台分に相当する。

Point 2 入退室カードとの共用化によるセキュリティ強化

端末認証カードを入退出カードと共用化することで、短時間の離席でも端末がロックされる。また、復帰の際には、どの端末にカードを挿しても、離席前の作業状態が復元される。

Point 3 端末メンテナンス作業の大幅な軽減

総合地所では、3名の管理者で180台の端末管理を行っていた。シンククライアントへの移行で、セキュリティパッチの適用やアプリケーションの管理などのメンテナンス作業が大幅に軽減された。

運営管理負荷を大幅に軽減するシンククライアント

総合地所では、一部の特殊業務を除き、建築設計、契約事務、社内施設予約などのイントラ系、総務、経理事務など、全ての業務がシンククライアント上で行われている。

シンククライアント化のメリットは、なんといっても消費電力の削減と、管理業務の軽減である。従来使われていたファットクライアントは消費電力が100W。それをわずか4Wのシンククライアントに入れ替えることで、サーバ6台分の消費電力を考慮しても、トータルで800Wの電気ストーブ約18台分の省エネ効果が得られている。また、セキュリティパッチの適用や、アプリケーションのインストールなど、端末の運用管理負荷も大幅に軽減することが可能となった。

先進のアイデアは先進のオフィス環境から

メリットはコスト削減にとどまらない。端末認証カードを入退出カードと共用化することで、トイレに行く際にも端末がロックされるなど、セキュリティが大幅に強化された。また、東京本社から大阪支店に移動してもカードを挿すだけで、作業中断前のデスクトップが瞬時に復元、

作業が続けられる利便性など、導入効果は多岐にわたる。

さらに、不動産業界において、他社に先駆けて先進技術を導入したことによる、社員のモチベーションアップも、大きな効果の1つである。総合地所は企画会社でもある。他社に比べて進んだオフィス環境で仕事をしているという意識が、新しい提案を引き出すことにつながっていく。

温浴施設が併設されたマンションや、ビオトープによる地域生態系の再現など、総合地所が提案する「時代を先駆ける理想の都市」は、先進で一流の職場環境に支えられている。

初期投資は4年で回収可能

シンククライアントの初期投資費用は確かに安くはない。しかし、消費電力削減効果と、運用管理負荷の大幅削減により、総合地所では導入後4年でインシャルコストの回収が可能であると見込んでいる。さらに、導入後5年が経過して、サーバ側の機器更新が必要となった場合でも、クライアント側の更新は不要であるなど、コスト的には大きなメリットとなる。

導入後の環境



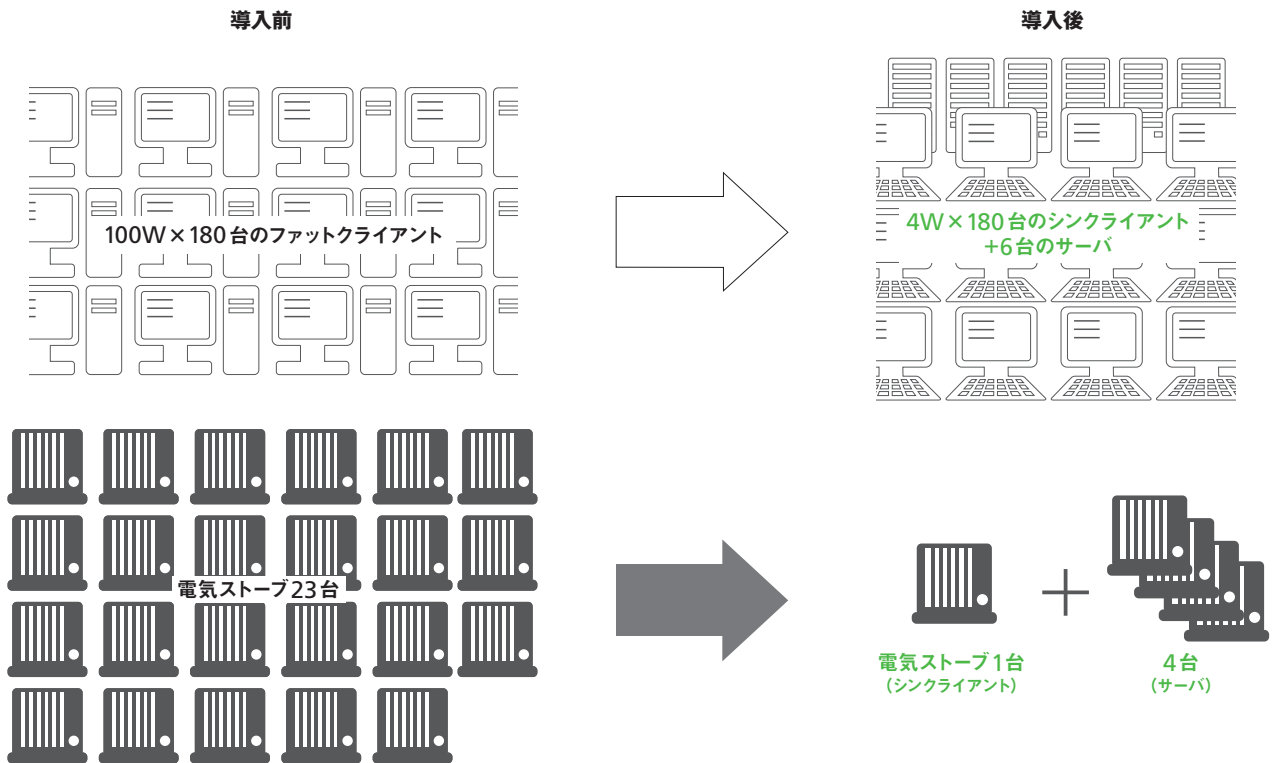
入退出カードと共用化された端末認証カード



端末認証カードをシンクライアントに挿入すれば、東京本社でも大阪支店でも、作業中のデスクトップが瞬時に復元される

省電力効果

電力消費量の比較



組織概要

総合地所株式会社



創業：1977年5月
 資本金：56億4,300万円
 本社所在地：東京都港区芝公園2丁目4番1号
 芝パークビル A館7階
 URL：http://www.sohgohreal.co.jp/



代表取締役社長
松岡瑞樹 氏

“カスタマーファースト”の姿勢のもと、次世代に胸を張って継承できる街づくり・住まいづくりを目指す総合地所では、ビオトープや温浴施設などの先進的な取り組みのほか、業界初となるグループ全社でのISO14001同時取得など、環境面にも力を入れている。

※ビオトープ：ドイツ語で「生き物が生息する場所」という意味で、都市の中に植物、小動物、昆虫、鳥、魚などが共生できる場所を造成または復元したものを指す。